



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2016年11月 No.414
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『笑顔と感謝の1年に』 国際会長 : 『私たちの未来は、今日から始まる』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を!』 中西部部長 : 『世界をみつめ、地域とあゆむ』	会 長 : 藤井 大祐 副会長 : 何 早林 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 松浦 和子 Y連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of November

神はこれらすべての言葉を告げられた。「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の国から導き出した神である。あなたはわたしをおいてはほかに神があってはならない。あなたはいかなる像も造ってはならない。。。。」

(出エジプト記20章1~4節)

魅せられて

中村 幸枝

「芸術は爆発だ」の岡本太郎の審美眼によって縄文土器は、美術・芸術として発見されたようだ。火炎土器の写真を見たとき、私も、その美しさに深く感激した。毎日眺めていたいとつくづく思ったものだ。

千葉の加曾利貝塚博物館で見学していると、そこで土器を製作している方に出会った。毎年毎年、縄文土器を再現しているという。そうして継承しなければ、技術はすぐに途絶えてしまう。形・色・文様は当然のこと、焼き縮みまで計算の上、作品をそっくり仕上げなければならない。20代半ばの私は寸分違わぬ火炎土器が欲しいと口走っていた。1・2年後、譲りうけることができた。弟に運転させ大切に抱えて、千葉から茨城の暗く長い夜道を走った。疲れた時、悩んだ時、縄文人と話をし、神がかりのような火の文様に縄文人の苦悩とエネルギーを感じた。その火炎土器に落しを入れ花を挿し、東京都立美術館での生け花展に出品した。私の青春を伴走してくれたと思っている。大阪に送った時、火炎土器は粉々に壊れた。いま、私の中で、もう買えん土器となっている。

(次号は、石津雅人さんです)

November Club Meeting

『Public Relations Wellness』

11月第1例会

日 時 : 2016年11月16日(水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

司会 : 藤原 正巳 君

1. 開会 藤井 大祐 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 谷川 寛 君
4. ゲスト・ビジター紹介 藤井 大祐 会長/藤原 正巳 君
5. 今月の強調月間 藤井 大祐 会長
6. 晚餐 一同
7. 歴史秘話「姿を見せない縁の下の力持ち・海底ケーブルシステム」
元関西日本電気ソフトウェア社長・川辺 勝さん
9. オークション 岡本 剛介 君
10. 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
11. 誕生祝い・ニコニコ献金 一同
12. 閉会 藤井 大祐 会長

お誕生日 : 船戸、山中の両メンと、山中、松浦の両メネット

※プレゼントは、中村幸枝メネットが6個ご用意ください。

例会担当 : 2班=中村隆、中村茂、何、藤原、松田の各メン

11月第2例会

日時 : 2016年11月22日(火) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

10月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21名	メ ン	14名	8名	10月	Og
例会出席 14名	メネット	3名	0名	現 金	0円
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	
0名	ゲ ス ト	3名	0名	切 手	204g
出席率 66.6%	合 計	20名	8名	現 金	0円
					10月 : 13,500円
					オークション : 5,400円
					累 計 : 191,346円

旧約聖書の出エジプト記で、神はモーゼに対して、偶像崇拝を禁止しています。ユダヤ教、イスラム教、キリスト教とも、神は姿をもちません。従って、偶像を造ってはならない、と教えています。ここが多神教の仏教などと異なるところです。これら一神教の教えは、偶像崇拝をしてはならない、と教えています。イスラム過激派 (ISIL) がバーミヤンの遺跡、その他を破壊した行為は、この理由によりますが、文化財保護の観点から、この行為は決して許されません。それではカトリック教会にはマリア像があり、東方正教会にはイコンがありますが、これはそれぞれ別の理由から正当化されています。。。。

(聖句選/コメント: 谷川 寛)
(次号は松浦和子さんです)

10月第1例会報告

と き: 2016年10月19日(水) 18:45~20:30

ところ: ホテルグランヴィア大阪 20階

少し肌寒さを感じ始めた例会は、ゲストを含め20人が参加し行われました。この日のメインスピーカーは大阪YMCAスタッフの3人。まず中高齢者事業センターの重信直人さんが、「大阪YMCA戦略・世代間交流」と題し、なぜYMCAが中・高齢者事業に取り組むのかということについて話をいただきました。

重信さんは、日本の高齢者の現状をまず説明。高齢者の健康寿命は、男性が70.4歳、女性は73.6歳。日本人は死ぬまでに寝たきりになる期間は約10年。

YMCAでは2005年から介護予防事業に取り組み、第1ステージでは、元気な高齢者をつくることを実践。シニアハワイキャンプ、さらに台湾での交流を実施し、YMCAの国際規模の学びの輪を広げています。台湾大学でのシンポジウムでは、学生が日本の高齢化を学び、日本と台湾の比較を学びました。先ごろ行われた東アジア地域包括国際ケア国際シンポジウムでは700人が集まり世界的な関心の高まりを示しているようです。次の第2ステージでは、地域につながり共助のしくみをつくり、世代間でつなぐことをめざすとのこと。

その先駆けとなる「گران・チャ・プロジェクト」は高齢者と高校生が紀泉わいわい村で交流し相互に学び合うというもの。一緒に石臼でもち米をひき、流しそうめんのやぐらと一緒に組み、土間で語り合う時間をもちました。来年はその高校生が企画を考えて実施すること。重信さんは最後に、高齢者が若い人たちにどんなメッセージを残すかが大事と述べ、サミュエル・ウルマンの「青春」の詩を紹介してくれました。その後、大阪YMCA表現・コミュニケーション学科の齋藤郁恵さん、池田博人さんが8月に行った「香港グローバルシチズンキャンプ」の交流の様子は映像で報告してくれました。とてもYMCAの活動を直接知るよい機会をいただきました。

(中村 茂高)



これからの高齢者の生き方について熱く語る重信さん

≡ ≡ ≡ ≡ Club Activities October, 2016 ≡ ≡ ≡ ≡

On October 19, our club's October meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 20 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance. The first highlight of the meeting was a speech made by Mr. Naoto Shigenobu, Chief of the Senior Citizens Project of the Osaka YMCA.

He told us the details of the YMCA's two stage plans to let the elderly to spend more healthy life.

The first stage is to make elder people more lively, through promoting their active participation in a program developed by the YMCA. The second stage is to strengthen ties among the elderly and young people in the local community. The Osaka YMCA has been successful in achieving many goals such as YMCA's International Exchange Program for elder people in Hawaii and the interchange program between senior citizens and high school students.

The second highlight of the meeting was a report made by Miss. Ikue Saito and Mr. Hiroto Ikeda, both of them are the staff of Osaka YMCA. They reported on the progress of the "Global Citizen Camp" held in Hong Kong from August 16 to 22, 2016. A total of 70 young YMCA staff from Taiwan, Hong Kong and Japan attended. at this Camp.

They told us how they enjoyed the Camp, especially the tea ceremony performance they made, together with other staff from Taiwan and Hong Kong. The most impressive report was that all the staff attended learned the spirit of the tea ceremony, "Harmony, Respect, Purity and Tranquility"..

Yen 13,500 was collected for the club's smiling fund.



大阪・香港・台湾 YMCA の学生の文化交流を報告する齋藤さん(右)と池田さん(左)

ガリラヤ湖の西、ガリラヤ地方全体でいえば、その中央の丘の中腹に位置するのがナザレ(Nazareth)の町です。青年イエスが大工ヨセフの長男として育ち、両親を助けて暮らし、彼が伝道活動を始めるまでの約 30 年間に暮らした土地です。2千年前には山村でしたが活気があり交通の要衝であったそうです。現在はどちらかというとアラブ的な喧騒がかまびすしい町で、ムスリムとキリスト教徒が半々に住む小さな町です。現在は世界中のキリスト教徒を引きつける巡礼地でもあります。古い讃美歌 122 番に歌われた「みどりもふかき、若葉の里、ナザレの村よ。。」の雰囲気はもはや殆どありません。ナザレの町には、マリアの夫ヨセフが大工の仕事をしていたところに建てられた聖ヨセフ教会などの数々の遺跡があります。イエスの母、マリアが受胎告知を受けたと伝えられる洞窟の上に建つ**受胎告知教会**＝上の写真は、古い遺跡の多いイスラエルでは大変モダンな教会です。世界中のカトリック教会から送られたマリアの壁画が飾られています。各国の伝統的のコスチュームで着飾ったマリアが見られます。日本からは長谷川路可画伯の「華の聖母子」が飾られていました＝下の写真。



10月第2例会報告

と き : 10月26日(水) 18:30~20:30

ところ : 大阪 YMCA 会館 4F

出席者 : 石津、大村、岡本、芝田、藤井、藤原、三浦、山田の各メン

〈ワイズ活動〉

- ① 大阪西クラブ 30 周年記念例会
11/20(日) 12:00~15:00 ホテルクライトン新大阪 登録費 7,000 円。講演「森と環境について」
- ② 中西部 YY フォーラム 11/23(祝) 16:30~18:00
土佐堀 Y302 号室(締め切り 11/12)

〈クラブ活動〉

- ① 表コミお茶会 11/17(木) 11:00~11:50
- ② 12月クリスマス例会 12/4(日)
大阪市西区京町堀 1 丁目の「サンドイッチ・ファクトリー」会費 4,500 円。ウクレレクラブ演奏も。
- ③ 1月例会(中西部合同新年会)

(第2例会議事録より抜粋)

YMCAニュース

☆第 283 回 早天祈禱会

日 時:11月18日(金)7:30~8:30

証 し:藤田 りかさん(大阪YMCA国際専門学校日本語学科スタッフ)

場 所:大阪YMCA会館 10階チャペル

☆2017年YMCAカレンダーを販売いたします!

YMCAで活動する子どもたちの笑顔でいっぱいのカレンダーを、今年も販売いたします。

・1部 880 円(税込)、A2 版、フルカラー、1 ページ 2 ヶ月分の暦。

・申し込みは、大阪YMCA本部事務局 美濃出・前田

TEL : 06-6441-0894 FAX : 06-6445-0297

E-mail : info@osakaymca.org

☆大阪YMCA大会 2016

日 時 : 11月23日(水・祝)

場 所 : 大阪YMCA会館(土佐堀)

●Yアクターフォーラム 10:00~12:00 9階

●Yアクショングループ代表者会議

12:00~13:20 3階

●Yボランティアの集い 13:30~15:30 2階

※詳細は公式 Facebook ページをご覧ください。

<https://www.facebook.com/Osaka.YMCA.forum/>

☆YMCA「ブランドコンセプト」

全国YMCAで進めているブランディングの土台となる「ブランドコンセプト」が発表されました。

【ブランドコンセプト】

●バリュー (Value) =YMCAが提供を約束する価値
「したい何かが見つかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所。」

●ビジョン (Vision) =YMCAが実現したい世の中の姿
「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る。」

●パーソナリティ (Personality) =ブランドとして備えているべき個性、らしさ
「心をひらき、分かち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ」

船戸 輝久



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ピジターからのメッセージ》

○いつもYMCAを支えていただき、ありがとうございます。センテニアルクラブのみなさまの豊富な経験や知識から、たくさんの学びや気づきを頂いています。これからも、世代を越えた温かいつながりが持てますようどうぞよろしくお願い致します。
(池田 博人)

○先週、セントラルウィズさんの例会にも参加させていただきましたが、どちらのウィズでも温かい時間が流れ、このような機会を頂けたことに感謝をしております。現在、表コミには国際協力に興味のあるスタッフが数名おります。谷川さんからアジア太平洋での活動をお聞きし、何か一緒に出来ればと思いました。
(斎藤 郁恵)

《会員、メネットからのメッセージ》

○YMCAが何を考え、そしてどんな活動を展開しているかを知ることができ、よかったです。
(岡本 剛介)

○大阪YMCAが取り組んでいる高齢者事業について、重信さんからお聞きし、理解ができました。
(大村 肇)

○12月4日のクリスマス例会の会場は“サンドウィッチ ファクトリ”。靱公園の北隣、四ツ橋筋から入ってすぐです。白いグランドピアノがある、味自慢のお店です。当日は、一緒にキャロルを歌いましょう。
(角地 正直)

○本日は早く来て、ウクレレの練習をしました。11月3日の重信センター長様、私は8月で73歳になりましたが、本日の前向きに好奇心と健康に留意して、天寿を全うしようと決意いたしました。ありがとうございます。
(芝田 光雄)

○私たち高齢者を対象にした話、大変興味ありました。
(谷川 寛)

○高齢者の問題は私たちのクラブの問題でもあります。重信さん、私たちにより助言をいただきました。斎藤さん、池田さんすばらしい報告を聞かせて頂きました。
(中村 茂高)

○次の行事、土佐カーニバルを楽しみにしております。
(中村 幸枝)

○本日も有意義な時間を過ごさせていただきました。闘病中の父親の姿が「最後の10年、あなたはどう生きますか」の問いに対しての自分の答え、ヒントがあるように思いました。
(藤井 大祐)

○本日のテーマは、中高齢者の生き方や青少年との繋がりについて興味深い卓話を頂きました。大変示唆に富むお話で、これからの10年をいかに過ごすか考えさせられました。
(藤原 正巳)

○「人生最後の10年、どう生きたいか？」重いテーマですね。考えさせられました。重信さん解説ありがとうございます。
(松浦 孝次)

○重信さんのお話、元気な高齢者を作ること。自立した生活を続けることが大切であること。いろいろお話を聞き、大変よく理解できました。ありがとうございます。
(松浦 和子)

○重信さんのお話、大変参考になりました。人生後半の10年、20年を、いつまでも、元気に過ごしたいものです。
(三浦 直之)

○先月の例会に続いて、高齢者の生き方、生きざまのお話を聞かされました。自分個人としては、このY'sの集まりでは、「年齢・高齢」は忘れて楽しい一夜の一刻を送りたいのですがね・・・？ そうもいきませんか～
(山田 孝彦)

ハワイ・ヌアヌクラブのランディ&キャシー夫妻ようこそ！！



10月27日夜、京都・がんこ二条苑での歓迎会風景



ランディさんは州高校軽音楽コンテストで優勝の腕前

後 記

10月29日、NHKスペシャル「100歳の世界」を繰り見た方にもいるかと思えます。「単なる長寿ではなく、心も体もいきいきと暮らしたい」。その秘訣を100歳以上の「センテナリアン」(百寿者)の研究からヒントを得るというもの。食事、運動、環境とある程度予想できるものが続いた後で、心の働きとして「ボランティア活動」という奉仕の精神が長寿の鍵を握っているというのは驚きでした。人間の遺伝子の中に「共生」という考え方が刷り込まれているというのは、なんとも意味深いお話です。私たちのセンテニアルも、百寿者の集まりと行きましようか！ S.N